

## アメ横の見どころ

掘り出し物を見つけたり、ピクニックの食事をまとめて購入したり、エネルギッシュな店主が働くのを単に眺めたりなど、アメ横は東京で最も素晴らしい露天市のひとつとなっています。初めて訪れる人は、まず 600m の商店街を端から端まで歩いてみましょう。商店街は、上野駅と御徒町駅の間の線路に沿って続いており、そこに並ぶ店舗や屋台は、新鮮な海産物や果物、野菜、チョコレート、その他の菓子、化粧品、衣服など、様々な商品を扱っています。

メインストリート、またはそこから入ってすぐのところにある店舗の中でも特に興味深いのは、中田商店、アメリカ屋、大熊商会です。中田商店は、ここで最も歴史のある商店のひとつです。数々の業者がアメ横で米軍から調達した商品を専門に扱っていた 1950 年代に創業し、今でもブーツやジャケット、バッグなど、軍の放出品を主に扱っています。アメリカ屋はその名の通り、アメリカ合衆国に関連する衣類を販売していますが、今では店の有名商品であるブルージーンズも、多くは日本の職人技で作られたものです。大熊商会にもゆうに半世紀以上の歴史があり、スカジャンを専門に扱っています。スカジャンは「souvenir jacket（お土産ジャケット）」とも呼ばれ、日本文化をステレオタイプ化して象徴する刺繍が施されています。初めて着用したのは、第二次大戦後に東京の南にある横須賀に駐留した米軍兵士たちでした。

高架下には屋内施設の上野センターモールがあります。これもアメ横の一部であり、何十もの小型店舗が営業しており、お土産、衣服、カメラ、靴、ベルト、香水などを販売しています。他にも屋内スポットとしてはアメ横センタービルがあります。アメ横の上野駅側の入口の近くにある三角形の建物です。アメ横センタービルの地下には、多種多様な雑貨店が入居しています。そのうち複数の店舗では、中国や東南アジアの食料品などが販売されており、一方で、地上階では主に服屋とホビーショップが営業しています。